

[金城好春議員 登壇]

○9番 金城好春君 ハイサイ、グスーヨー、チューウガナビラ。勝議員の要望に応じて、「ハイサイ」運動に賛同します。休憩をお願いします。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩(午後3時09分)

再開(午後3時09分)

○議長 知念富信君 再開します。9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 それでは通告書に従い、質問をいたします。1、町民の8020運動を目指して問う。(1)40歳以上の歯科疾患実態調査をしたことはあるか。(2)特定健診のときに歯の健診も一緒にできないか。(3)8020運動を目指して、町はどのような取り組みをしているかお伺いします。

2点目、安全で安心なまちづくりを問う。これは朝、勇太議員からもありました。先ほどは勝議員からも、町の安全なまちづくりについて質問をしていました。これは滋賀県の大津市で1カ月以上前に園児たちの列に車が突っ込んで悲惨な事故が発生したのを皮切りに、最近、高齢者による突っ込み事案が多発しております。きょうも朝一番のニュースで、これは本土のニュースだと思いますけれども、親子のほうに車が突っ込んでけがをしているというニュースが流れました。そういう観点から質問をいたします。(1)南星中学校前より津嘉山保育園前までガードレールが設置されていない。早急に設置ができないか。いわば防護柵ですね、南星中学校から照屋十字路までは設置されております。(2)国道507号津嘉山バイパスの歩道にガードレールの設置ができないか。これはスピードが出る国道ですので、より頑丈なガードレールの設置を要望したいと思います。(3)国道507号津嘉山バイパスの中央の白線が高津嘉山トンネル付近から津嘉山西線との交差点まで消えているため、早急に改善をお願いしたいと思います。よろしくお願ひしたいと思います。

(4)町内の国道・県道・町道の交差点に車進入防止用のポール設置ができないか。きょう町長の机とまちづくり振興課の課長に、国道507号に設置されているポールの写真を参考として提示してあります。よろしくお願ひします。

大きな3番、新たなバス路線の設置を問う。(1)国道507号津嘉山バイパスに那覇市と八重瀬町具志頭等を結ぶ新たなバス路線の開通要請ができないか。以上、3点お伺いします。よろしくお願ひします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の町民の8020運動を目指しての(1)についてお答えします。町による調査はしたことはありません。

(2)についてお答えします。特定健診項目には歯科検診が含まれていないこと、特定健診機関での対応もないことから難しいと思います。

(3)についてお答えします。乳幼児については、1歳6カ月健診、2歳児健診、3歳児健診の中で歯科検診と歯科衛

令和元年第2回定例会 一般質問

生士による歯磨き指導を実施しています。歯と口の健康週間には、ちむぐく館や図書館において歯の健康に関する食品展示をしています。児童生徒について、小学校では昼食後の歯磨きや1年生の親子を対象としたブラッシング指導、虫歯のない児童に対して虫歯ゼロの表彰を行っています。中学校でも生徒に対して給食後の歯磨きを勧めたり、保護者に対して保健だより等を用いて歯磨きについての呼びかけ等を行っています。また、今年度から健康増進事業による歯周病疾患検診の実施を予定しております。

2点目の安全で安心なまちづくりを問うの(1)、(2)、(3)については関連しますので一括してお答えします。道路管理者の県南部土木事務所へ交通安全施設等の設置及び管理について要請をしております。

(4)についてお答えします。交差点の安全確保について、交通安全施設の設置等を検討されるよう、国、県に要請をしております。町道については、危険箇所の把握に努め、安全対策を検討します。

質問事項3点目の新たなバス路線設置についてお答えします。現在、株式会社琉球バス交通が那覇市国場から津嘉山サンエー前を通過し、八重瀬町、南城市方面へ向かう路線を運行しています。今後507号バイパスにおいて新たなバス路線の开通について、要請をしております。以上です。

○議長 知念富信君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 ありがとうございます。再質問いたします。8020運動に際し、歯科疾患実態調査をしたことがあるかということを質問しましたが、現在は調査をしたことがないということでもあります。8020運動とは何か、これは啓発活動であると。厚生労働省によると、平成28年歯科疾患実態調査の結果をとりまとめ公表したとインターネットを通じて公表されております。80歳になっても自分の歯が20本以上ある8020を達成した割合は51.2%と2人に1人が達成したことになり、過去最高を記録したと。それから6月4日から10日までは歯と口の健康週間が実施されているということです。8020運動とは、80歳になっても20本以上の自分の歯を保とうという運動です。20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができると言われております。そのため生涯自分の歯で食べる楽しみを味わえるようにとの願いを込めて、この運動が始まりましたと記されております。きょう答弁いただきました乳幼児健診、それから小中学校、ブラッシング指導、虫歯ゼロの表彰とか、これはほとんど小中学校での教育と実施というように理解しますが、健康増進事業による歯周病疾患健診の実施というのも小中学校内での話でしょうか。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 好春議員の質問にお答えします。健康増進事業による歯周疾患検診とは、健康増進法に基づく、大人を対象とした検診になりまして、内容は問診と歯茎など、口腔の点検を行います。以上です。

○議長 知念富信君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 これはいつやるんですか。特定健診の中でやるんですか。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 今年度から実施の予定とありまして、現在、実施できるように、まず要綱の準備をしている段階でありまして、その後また、特定健診の部類とは違うんですけれども、一般会計の中で行いまして、要綱の

令和元年第2回定例会 一般質問

整備と同時並行で南部地区歯科医師会と協議をしていき、今年度の実施を予定しています。以上です。

○議長 知念富信君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 いわば中高年を対象にして、特定健診並みに各自治会への、公民館に集まっていただいて、希望する方は皆、歯の検診をするということよろしいですか。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 お答えします。集団健診とは別の、個別健診という形でやっていくことになります。以上です。

○議長 知念富信君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 では、通知はどのようにやるのでしょうか、個人個人でやるのか。マイク放送でやるのか。どういう計画をなされているのか、もっと詳しく説明をお願いします。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 お答えします。要綱や南部地区歯科医師会との協議終了後に、南風原町の広報紙やホームページ等を使って広報し、希望者を募る予定になります。以上です。

○議長 知念富信君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 ありがとうございます。この歯科疾患実態調査をしたことはないとあるんですが、厚生労働省の発表はどのような調査をして、とりまとめたのか。町は今からでも歯の健康状態を調査するお考えはないのか、ひとつよろしくをお願いします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 この、議員おっしゃいます歯科疾患実態調査というのは5年に1回、以前は6年に1回ですけども、今は5年に1回、これは国が実施する歯科疾患の実態調査でございまして、やはり規模が大きいといえますか、また歯科医との連携とか乳幼児から大人までの口腔の状況ですので、これは国でやっている調査でございまして。それをまた改めて町内で調査というのは、難しい部分があると考えます。我々としてはこの8020運動、これは大変重要な部分ということは認識しておりますので、引き続きまた乳幼児から、今度からまた新たに大人の歯周病疾患検査も導入して、各年代での口腔の健康維持に努めていきたいと考えます。

○議長 知念富信君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 この特定健診は40代以上、後期高齢者まで、より健康で長生きしてもらいたいという趣旨のもと行われていると思いますが、歯だけは検査というのは聞いたことがないわけです。自分で歯医者に行かないと、自分の歯の健康状態はわからないと。私もそうですが、なかなか、今までは虫歯もないということで歯医者などに余り行かなかったわけですが、恥を忍んで申し上げますけれども、ことし2月ごろ甘いものを食べたら歯に痛みが走って、歯医者に行きましたら、虫歯があると言われて、大変ショックを受けまして、治療しましたけれども。事前に特定健診み

令和元年第2回定例会 一般質問

たいに、町民の中高年、皆様方の歯の健康状態の検診ができるようなシステムがあれば、虫歯も発見できるし、早期治療もできるということにつながると思いますが、これを放置していますと、抜かないといけないということになりかねませんので、やっぱり自分の歯があって初めておいしい食べ物がかみしめられると私は思うのであります。そういうこともありまして、何らかの方法で、是非歯の健康状態を行政のほうでできないものかということで、きょう質問をしておりますけれども、ほかに手だてはないのかどうか、歯を検診する。今から健康保健課が計画しております歯周病疾患検診ですね、これは年度内にやる予定ですか。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 はい、今年度実施に向けて取り組んでいるところです。以上です。

○議長 知念富信君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 それから歯科医に行きまして、勧められたのがあるんです。歯と歯茎の間を掃除する歯間ブラシ、皆さんは使用したことがあるでしょうか。私も医者から勧められまして、薬局で買ってきて、今歯ブラシと歯間ブラシの両方で磨いていますけれども、皆勘違いしているんじゃないかなと。私も今まで裏表歯ブラシで磨いて完璧と思っていましたけれども、歯ブラシを使って歯磨きをした後に、この歯間ブラシで歯茎の間を隅々つついてから掃除しますと食べかすが出てくるんです。だから歯ブラシで表裏を磨くと、食べかすが余計に圧縮されているんじゃないかという感じがします。それを歯間ブラシでつついてやると、挟まっていた食べかすが出てくると。これは私が今やっている体験談を申し上げますけれども、そういう普及も必要じゃないかと思いますが、民生部長いかがでしょうか。どのようにして、歯磨きの仕方を町民に普及させることができるか、検討してもらえませんか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 まず議員おっしゃっていました歯間ブラシ等の活用も含めて、歯の、虫歯予防、そして口腔疾患の予防等の取り組みに関しては、先ほど申し上げましたように乳幼児健診から、そして小中学校の学校保健の中で取り組んでいる状況でございます。特に乳幼児健診とかにおきましては、保護者も一緒ですので、磨き方。今言う、フロスの使い方とか、そういった部分もしっかり保護者ともども予防に向けて、歯の大切さとか、そういった部分を検診の中で予防活動に取り組んでいるところでございまして、そういった意味から、小さいころからそういう習慣がついていきますので、徐々に、徐々に、先ほど厚生労働省の実態調査でも5年前の40%台から、今度5年後は50%を超えたということで、2人に1人が80歳になっても20本以上の歯があるという状況に改善されているということでございまして、引き続き乳幼時期から学童期も含めて、この取り組みを続けていくことで、将来にわたって沖縄県の、沖縄県は虫歯を持っている子供も大人も相当多い状況でしたが、その辺が改善されていくものだと思います。一ついい部分では、これは昨年新聞記事に載ったんですが、12歳、小学6年生の虫歯、1人当たり持っている本数が10年前と比べて半減したと。沖縄はそれまでは全国ワースト1位だったのがやっと抜けたということもあります。これはそういった取り組みがきてきたあかしじゃないかと思っておりますので、我々としては引き続き、乳幼児期から、そして学童期、引き続きまたその後の歯周病疾患検診等を含めて、虫歯予防それから口腔の健康維持に努めていきたいと考えます。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

令和元年第2回定例会 一般質問

○国保年金課長 高良星一郎君 先ほどの説明の中で、不足の点がありましたのでご説明いたします。今回予定しています歯周病疾患検診につきましては、健康増進法に基づく事業になりまして、対象者が40歳、50歳、60歳、70歳というふうに、10歳刻みを対象とする事業になります。以上、追加で申し上げます。

○議長 知念富信君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 70歳は入っていないですか。

○議長 知念富信君 国保年金課長。

○国保年金課長 高良星一郎君 70歳も含まれております。

○議長 知念富信君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 これを心待ちにしておきます。じゃあ、この実態調査がわからないということは、80代の皆様方の歯が何本残っているかということは、把握できないんでしょうか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 この実態調査に関しましては、国単位でやっている部分で、それも条件がございます。国勢調査の調査区の中から無作為に抽出した475地区、国内からですね。そのうちの150地区内の満1歳以上の世帯員にアンケート調査でもっての実態調査となっておりますので、その結果で国内では2人に1人以上が80歳になっても20本以上の歯をちゃんと保有しているという調査でございます。県内においても、歯科医師会も8020運動の活動とか、毎年6月4日から10日の習慣においてはデンタルフェアを設けたり、そういった部分でしっかり広報、啓発活動をやっているわけでございまして、そういったことを続けていくことによって、個人個人の意識も高まり、自分の歯の健康を保っていけるのかなと思います。

○議長 知念富信君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 わかりました。いろんな取り組みをやっておられるということで理解しましたので、今後とも町民の歯の健康維持に取り組んでいただきますよう要望して、1番は終わりたいと思います。

次、2番目の安全で安心なまちづくりですが、国道、県道は維持管理の南部土木事務所に要請していくというご答弁がありました。よろしく願います。町道ですが、照屋十字路は防護柵、パイプで四隅、角がきれいに囲まれていて、ガードされていて、大変安全であると思います。今、問題になっているのは交差点の横断歩道の前で信号待ちをしている園児、あるいは小中学生、高校生、ここに車が突っ込んでこないか危惧されるということで社会問題になっているんじゃないかと思っておりますので、写真も差し上げましたが、あれはゴム製ですが、歩道もとっても広いので車が進入できないような進入防止策も兼ねての設置だと思っておりますが、今の社会情勢においても車の突っ込みがどんどんふえてきていますので、より強度な防護柵の設置が望まれるんじゃないかと思ってこの質問をしているんですが、町道に関しては、どういう考えで今後進めて行かれるか、そこのところをお願いします。

○議長 知念富信君 経済建設部長。

○経済建設部長 神里操也君 国道と、例えば町道との交差点とか、県道と町道の交差点、町道と町道もござい

令和元年第2回定例会 一般質問

けれども、町のほうにおいては危険箇所、そういった交差点の場所における防護柵等の設置につきまして現場を把握、調査をして、なるべく学校の周辺から設置してまいりたいと。今、事業としまして、交通安全設置事業が県の100%補助でございますけれども、その事業の中で設置が可能かどうか。県の担当課と、そういったところを調整してできるのであれば、その事業で設置してまいりたいと思っております。

○議長 知念富信君 9番 金城好春議員。

○9番 金城好春君 ありがとうございます。津嘉山保育園の近くの交差点、勇太議員も質問しておりましたけれども、保育士の方から話を聞きました。向こうは歩車分離式という道路になっているということですが、待ちきれなくて、また初めて通るドライバーが車側の信号が青にならない前にスタートして通り過ぎていく光景がたまにあるということであり、そういうことも含めて、何らかの歩行者防護の安全柵は必要じゃないかと思っておりますので、早目の対策をお願いして、私の質問を終わります。ありがとうございました。